

# 景況レポート

(11月分・情報連絡員80名)

## 景況DI値が3ヵ月連続で後退

### 【概況(全体)】

11月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが8.8%(前回調査10.0%)、「悪化」が38.8%(同37.5%)で、業界全体のDI値は-30.0となり、前月調査と比較し2.5ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は依然として上回っているものの、非製造業は低調となり、全体のDI値も全国及び東北・北海道ブロックより低い水準で推移した。

### 【業界別の状況】

業界別では、食料品や鉄鋼・金属などで景況感が後退した。一方、卸売業やサービス業、建設業では業況の悪化割合が縮小した。なお、全体の景況感としては、依然として需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を実感できない状況が続いており、また、米国大統領選に伴う急激な為替変動や原油高等の予期せぬグローバルリスクも現出していることから、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

### ＜全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較＞

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-30.0	-26.1	-28.0
製 造 業	-25.0	-26.7	-28.6
非製造業	-33.3	-25.7	-27.6

### ＜景況天気図＞

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製 造 業						
非製造業						

【凡例】 快晴 30以上 晴れ 10以上 30未満 曇り 10未満 雨 10未満 雷雨 30以下

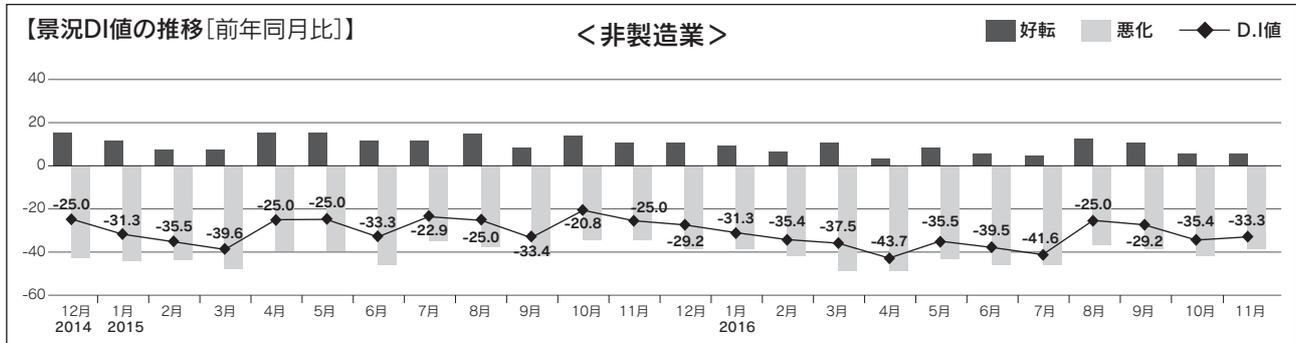
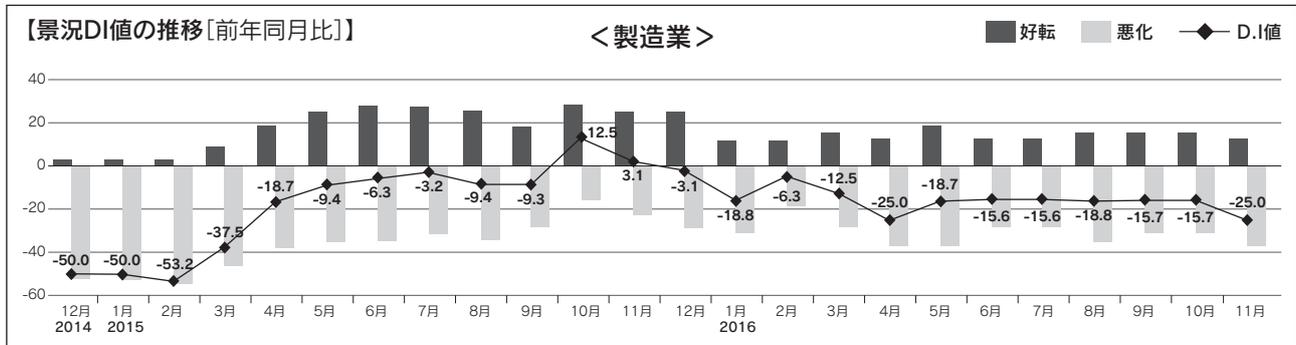
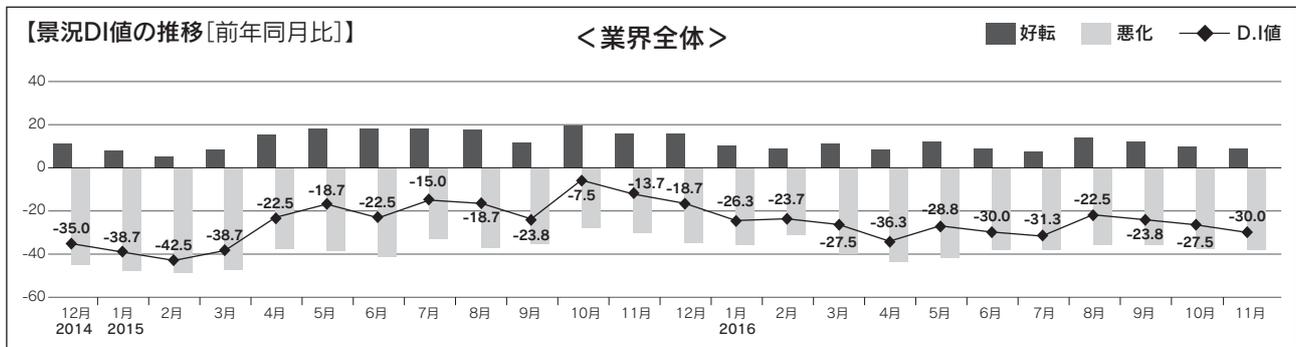
【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食 料 品 ( 清 酒 )	清酒出荷量は1,666,719ℓで、前年同月比95.7%とわずかに前年割れとなった。また、タイプ別でも吟醸酒が前年同月比99.3%、純米酒が同91.6%と低調に推移した。
織 維 工 業 ( ニ ッ ト )	一昨年の閑散期の状況に逆戻りしている。春物生地の投入も全般的に遅れており、各組合員企業は対応に苦慮している。
織 維 工 業 ( 織 維 )	婦人服は、数量のある製品が増加し、多少の景気回復がみられた。しかし、納期が集中しているため、やりくりに苦慮している。(県南地区)
木材・木製品 (一般製材)	11月の売上は、前年実績に至らず低迷している状況である。また、例年と比較しても一段と悪化している。(中央地区)
木材・木製品 (プレカット)	11月は、アパートや市営住宅等の受注があり、前年同月並みの業績を確保した。また、来月も引き続き大型案件があり、前年並みの出荷となる見込である。
印 刷	大型物件の激減及びロット数の減少により、売上が低調である。(県南地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	11月の出荷数量は、前年同月比110%となった。しかし、4～11月の累計では前年比90.4%となり、県内各地とも需要が低迷し、厳しい状況が続いている。
鉄鋼・金属 (機械金属)	売上高は、679,174千円で前年同月比94.6%、前月比92.3%で推移した。全体的に前年、前月より売上が減少している。
一 般 機 器 (金属加工)	業況は、総じて活発に推移している。しかし、各組合員企業とも以前に増して短納期が顕著になってきており、捌き切れない仕事も見受けられる。
その他の製造業 ( 漆 器 )	今年は、例年より来館者が増加傾向にある。今後も物産展等の開催が続くため、川連漆器の普及に努めていきたい。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 11月の売上は、前年同月比115%で推移した。野菜が高騰し、他の商品を特売したこと（青果）により、全体の売上が増加した。

小売業 11月の売上は、団体客等の利用により前年同月比102%となった。（みやげ品）

小売業 ポイントカードの売上は、前年同月比11%減少した。（ポイントカード）

商店街 全体の売上は減少傾向にある。一方で、飲食業は好調に推移している。（秋田市）

サービス業 11月の自動車検査台数実績は、前年同月比で登録車が15.9%、軽自動車が12.6%それぞれ増加し、全体で14.5%増加となった。整備比率を見ると、登録車が58.7%、軽自動車が41.3%と前月と比べ、登録車が0.8%下回った。

サービス業 新築住宅着工数が減少している。また、リフォーム工事は行政の補助施策が功を奏し活気が見られていたが、それも減少傾向に転じてきている。今のところ継続している物件が終了すれば、先の見通しがついていない組合員企業も多く、不安定な景況が予想される。（建築設計）

建設業 公共工事、民間工事ともに順調に推移しており、特に住宅メーカーの新設工事が好調である。（電気工事）（大仙市）

運輸業 輸送量は品目により差があるが、全体的には前年並みとなっている。（中央地区）（トラック）

その他の非製造業 公共工事等の減少により、販売量が前年同月比約25%減少した。（県南地区）（砂利採取）